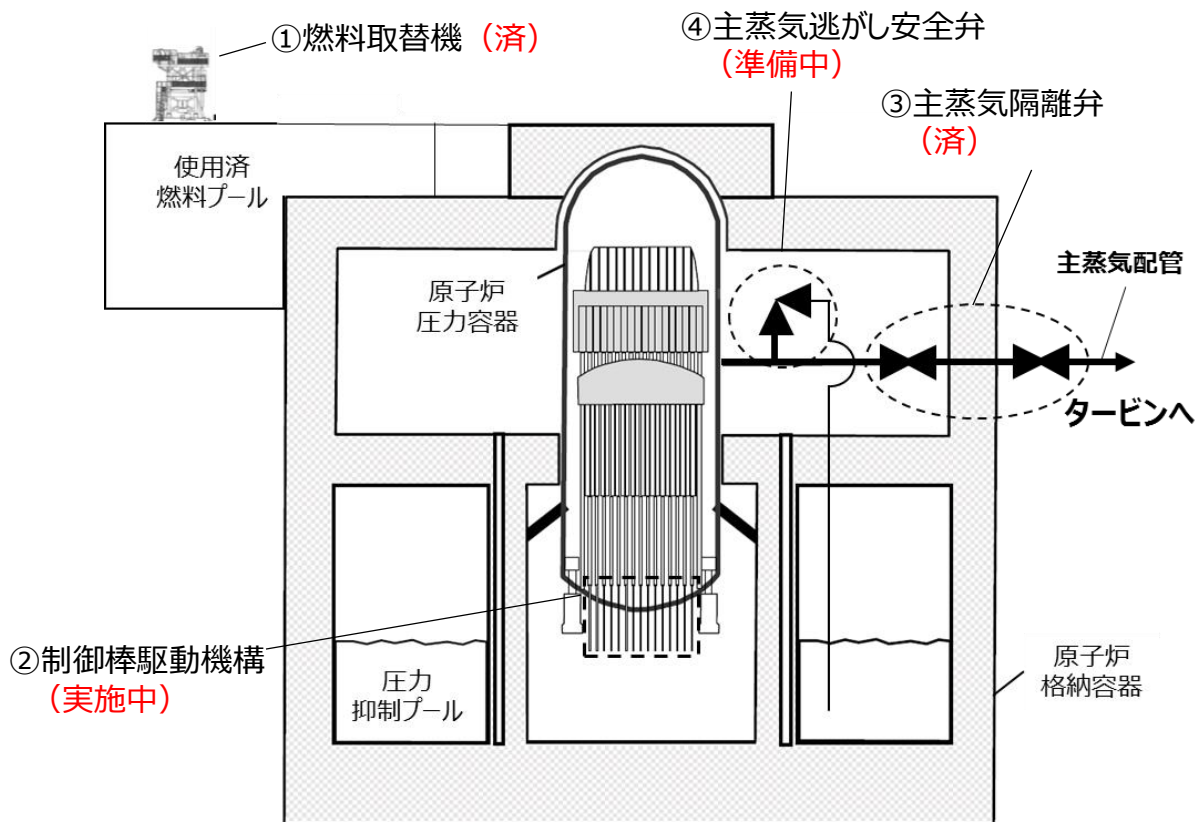


7号機における原子炉系主要設備の健全性確認の進捗状況について



【これまでの進捗状況】

- ①燃料取替機の健全性確認：済
・3月10日～3月23日
- ②制御棒駆動機構の健全性確認：実施中
・3月24日～
- ③主蒸気隔離弁の健全性確認：済
・3月28日、29日（弁の全開・全閉）
・4月7日（漏えい確認）
- ④主蒸気逃がし安全弁の健全性確認：準備中

- ② 制御棒駆動機構の健全性確認を実施中。（5月10日時点：148／205体実施）
※不具合があると推定された燃料取替機の制御基盤は、メーカーにて詳細調査中

柏崎刈羽原子力発電所 6号機大物搬入建屋 杭の損傷に関する追加調査の結果について

2023年5月11日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

追加調査の対応結果

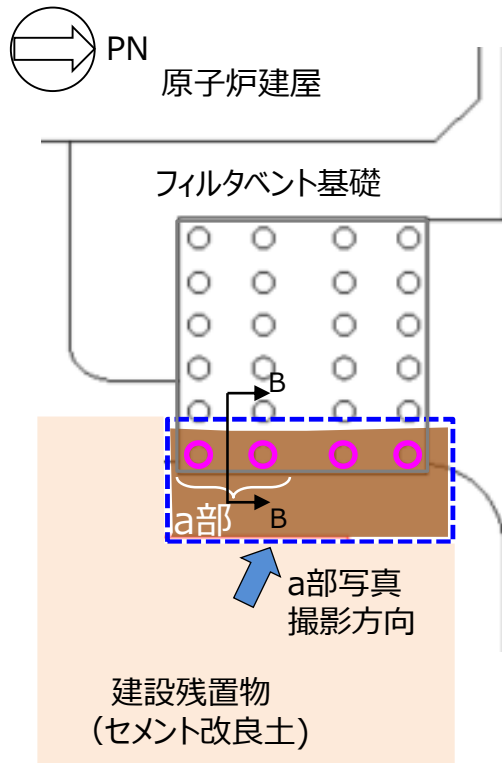
- 6号機大物搬入建屋の杭損傷を受け、2022年2月に「建設残置物が杭に接している状況のもとで中越沖地震による地震力が作用したこと」が杭損傷の推定原因と公表
- 推定原因をより確かなものにするために、4号機大物搬入建屋の基礎下の掘削調査を実施
- また、建設残置物の状況を把握するために主要な杭支持構造物周辺の探査などを実施（6号機、5号機のフィルタベント基礎周辺に建設残置物を確認）
- これまでの調査を取りまとめるとともに今後の対応についてお知らせ

対応項目	対応結果
4号機大物搬入建屋の掘削調査	掘削調査実施済み(2022年10月27日公表) ⇒5スライド <ul style="list-style-type: none"> • 杭に耐震性能に影響を及ぼす損傷なし
主要な杭支持構造物周辺の建設残置物探査等	調査実施済み(2022年10月27日公表) ⇒6スライド <ul style="list-style-type: none"> • 6号機および5号機フィルタベント基礎の周辺で建設残置物を確認（当該箇所以外の主要な杭支持構造物は問題ないことを確認）
6号機フィルタベント基礎建設残置物調査	掘削調査実施済み(2022年10月27日公表) ⇒7スライド <ul style="list-style-type: none"> • 3本の杭に建設残置物が接していることを確認 • 杭周辺の建設残置物については撤去済み
5号機フィルタベント基礎建設残置物調査	掘削調査実施済み ⇒2スライド <ul style="list-style-type: none"> • 4本の杭に建設残置物が接していることを確認 • 杭周辺の建設残置物については撤去済み

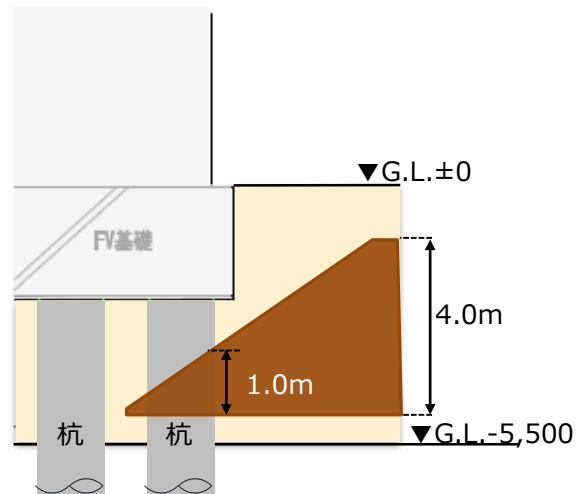
5号機フィルタベント基礎 建設残置物調査結果

- 5号機フィルタベント（本体は未設置）基礎にて建設残置物が1本の杭に接していることを確認（2022年11月24日公表）
- その後、建設残置物が杭に接している範囲を特定するために基礎下の掘削を進めた結果、4本の杭に建設残置物が接していることを確認
- なお、杭周辺の建設残置物については撤去済み

5号機フィルタベント基礎平面図



B-B断面図



凡例

- : 建設残置物 計画範囲
- : 今回取り除いた建設残置物
- : 掘削済み範囲

a部写真



建設残置物が確認された事実関係および原因

【事実関係および原因】 ※(1)～(3)：建設残置物が杭に接した原因。次ページに各対策を示す

6号機フィルタベント基礎・5号機フィルタベント基礎・6号機大物搬入建屋共通

- これまでセメント改良土等の建設残置物は、埋設物管理図の管理対象外 (1) であったため、杭の施工前に建設残置物があることを把握できなかった

6号機フィルタベント基礎

- 当社は工事前にボーリング調査などを実施していたものの、建設残置物を確認できなかった。 (2)
また、当社および施工者は杭掘削作業中に掘削土中の建設残置物に気づくことができなかった

5号機フィルタベント基礎

- 当社は工事前にボーリング調査などを実施していたものの、建設残置物を確認できなかった (2)
- 当社は、施工者から杭掘削作業中に掘削土の中に少量の建設残置物の塊を見つけたことの報告を受けたが、杭の健全性に影響を及ぼす可能性には気づかず、杭の施工上問題がないと判断し工事を進めた (3)

6号機大物搬入建屋（2022月2月24日公表）

- 施工者は杭掘削作業中に建設残置物に気づいていたが、杭の健全性に影響を及ぼす可能性には気づかず、杭の施工上問題がないと判断し工事を進め、当社への報告を行わなかった (3)

原因を踏まえた対策と今後の対応

【対策】

- (1) : 埋設物管理図によって、建設残置物の情報も含めて一元管理を実施
- (2) : 一元管理された情報をもとに、今後新・増設等行う設備について、建設の各段階（計画・設計・施工）で建設残置物を含めた地中埋設物の把握および、設備への影響確認のための調査※1を実施
- (3) : 施工中に当初想定していなかった地中埋設物などが確認された場合、施工者は当社監理員へ確実に報告を行うこと、報告を受けた当社監理員は設計者に対して設備への影響確認を行うことを徹底。また、当初計画との相違など作業中の変化については現行ルールでのCR※2起票を徹底

※1:これまでの調査内容を見直し、ボーリング数を増やす、試掘範囲を見直す、探査機を用いる等、深さ方向、平面方向の網羅性を図る

※2:日々の業務の中での変化や気づきを報告する社内システム

本事案を踏まえ、地中埋設物の干渉に起因して発電所の重要な設備の機能に影響を与えることを防止するため、本対策をマニュアル等の手順に落とし込むことで確実に実施。また、今回の事例については当社社員および協力企業への周知を徹底

【今後の対応】

6号機フィルタベント基礎・5号機フィルタベント基礎

⇒ 中越沖地震の影響を受けておらず、杭に損傷が確認されていないことから、耐震上の影響を及ぼさないことを確認した上で適切な材料や工法を選定し埋戻しを実施

6号機大物搬入建屋

⇒ 耐震性の更なる向上を目的に建て替えを実施

(参考) 4号機大物搬入建屋 掘削調査結果(2022年10月27日公表)

- 調査の結果、6本全ての杭で、幅1mm未満のひび割れが確認されたものの、杭としての支持性能に大きな支障となる損傷はなく、耐震性能に影響がない状態であることを確認
 - ※ 学識者などの第三者委員会においても妥当であるとの評価
- なお、地下部については非破壊試験を実施し、健全性を確認

4号機大物搬入建屋 調査結果一覧

杭No / 調査項目	コンクリート剥落	コンクリート浮き	コンクリートひび割れ本数・幅	鉄筋露出	損傷度※1
No.1	なし	なし	7本 最大0.30mm	なし	II
No.2	なし	なし	7本 最大0.55mm	なし	II
No.3	なし	なし	3本 最大0.20mm	なし	I
No.4	なし	なし	6本 最大0.25mm	なし	II
No.5	なし	表面のみ (約0.04m ²)	1本 最大0.95mm	なし	II
No.6	なし	なし	2本 最大0.40mm	なし	II

※1 建築研究資料 No.90 1997.8 建築基礎の被災度区分判定指標及び復旧技術の考えに沿って評価

(参考)主要な杭支持構造物 建設残置物調査結果(2022年10月27日公表)

- 調査の結果、5号機フィルタベント基礎（フィルタベントは未実装）、7号機フィルタベント基礎は、表面波探査にて確認された硬いものを示すデータについて杭に影響がないことを十分に説明できないため、追加調査を実施
- その内、7号機フィルタベントはボーリング調査を実施し、建設残置物がないことを確認済み

No	調査対象施設※	A. 机上調査による建設残置物の有無	B. 表面波探査で確認された硬いものを示すデータの有無	(Bで「あり」の場合) Aによる説明	追加調査要否	建設残置物の確認結果
1	5号機 フィルタベント基礎	あり	あり	Bによる硬いものを示すデータが杭に影響がないことを、Aでは十分に説明できない	要	調査中
2	7号機 フィルタベント基礎	なし	あり	Bによる硬いものを示すデータが杭に影響がないことを、Aでは十分に説明できない	ボーリング調査実施済	なし
3	D/Dポンプ建屋 (荒浜側)	なし	なし	-	不要	なし
4	D/Dポンプ建屋 (大湊側)					
5	焼却炉建屋 (荒浜側)					
6	ランドリ建屋 (荒浜側)					
7	固体廃棄物貯蔵施設	なし	あり	Bによる硬いものを示すデータは、Aにより隣接する建屋であることを確認 杭への影響はないことを説明可能	不要	なし
8	焼却炉建屋 (大湊側)					
9	6号機軽油タンク基礎・ DGFOダクト	なし	あり	Bによる硬いものを示すデータは、Aにより安全対策工事として実施した耐震補強のための地盤改良であることを確認 杭への影響はないことを説明可能	不要	なし
10	7号機軽油タンク基礎・ DGFOダクト					

※「4号機大物搬入建屋」は杭頭部を掘削して調査を実施したため、対象から除外

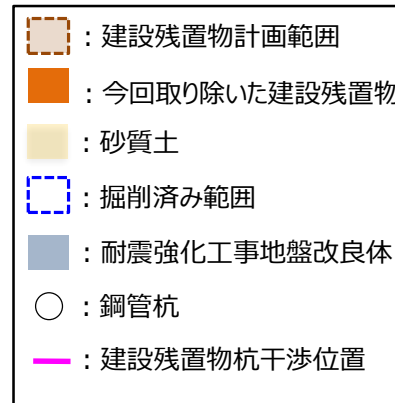
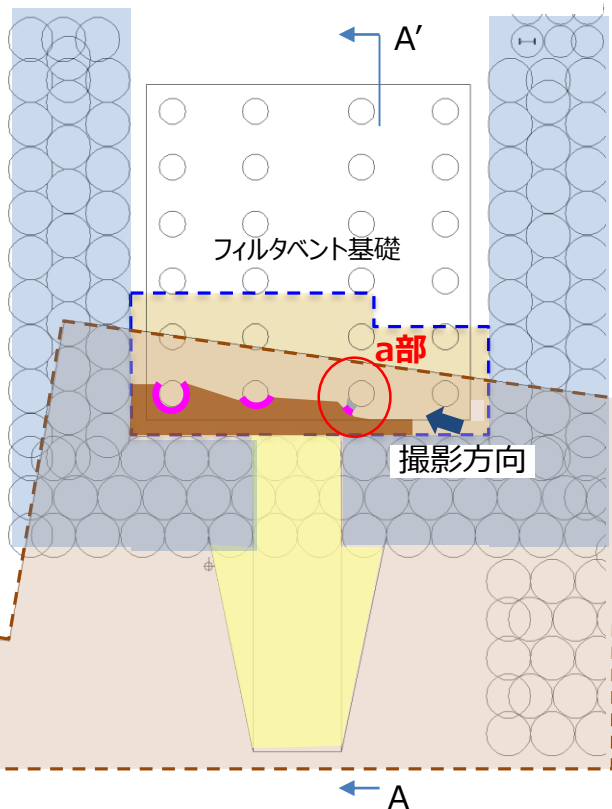
「5号機SGTSダクト」は安全対策工事として杭間を含む杭周囲の地盤改良を行っていることから、対象から除外

(参考)6号機フィルタベント基礎 建設残置物調査結果(2022年10月27日公表)

- 2本の杭が建設残置物に接していたことに加え（8/25および10/13公表済）、左下角にある杭から右側に向かって3本目の杭についても、わずかながら接していることを確認
- 確認された杭近傍の建設残置物については、既に全て撤去済み



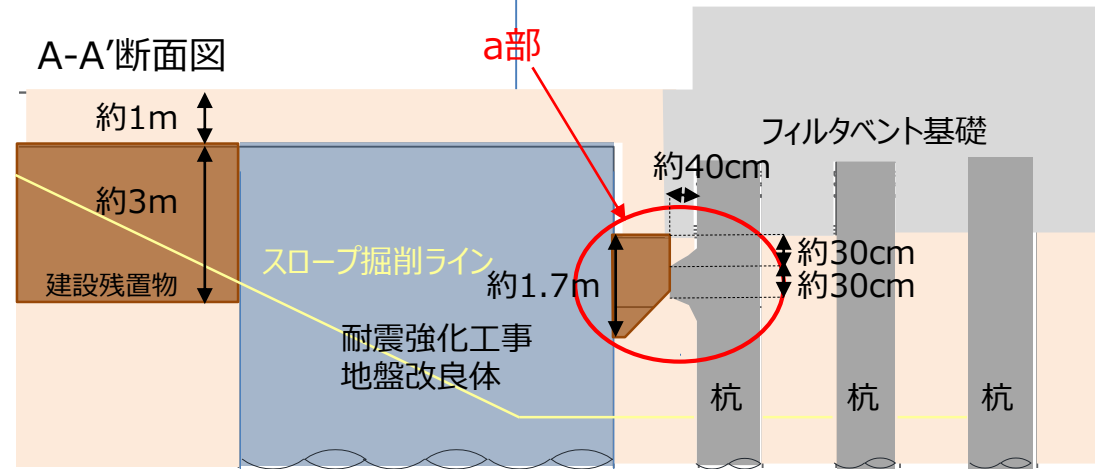
6号機フィルタベント基礎平面図



a部写真



A-A'断面図



プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年4月27日

号機

5

件名

海水熱交換器建屋（非管理区域）における海水の漏えいについて（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2023年4月26日午後11時36分頃、海水熱交換器建屋地下2階において、運転員が巡視点検を実施していたところ、海水系配管スペースエリアから水が浸み出していることを確認しました。

その後、当該エリア内にある原子炉補機冷却海水系*の空気抜き配管の弁から海水が漏れていることを確認したことから、当該弁を閉め、海水の漏えいは停止しました。

海水の漏えいは約48,000Lと推計しています。

また、当該配管に異常はなく、弁から漏えいした原因について確認しております。

なお、外部への放射能の影響はありません。

① * 原子炉補機冷却海水系

原子炉建屋内の設備（非常用ディーゼル発電機、空調機等）を冷却する原子炉補機冷却水系を、熱交換器を介して海水で冷却するシステムであり、ポンプ1台あたり、2,460,000L/hの吐出流量。

【対応状況】

今後、漏えいの原因を調査し、再発防止対策を講じてまいります。

（2023年4月27日にお知らせ済み）

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年5月10日

号機

3

件名

タービン建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2023年5月9日午後3時頃、3号機タービン建屋1階大物搬入口エリア（管理区域）において、3号機から5号機への物品運搬作業に従事していた協力企業作業員が、3号機での作業を終え、移動中に足を滑らせ右足首を負傷したことから、午後4時頃に業務車にて病院へ搬送しました。

なお、本人は意識があり、身体汚染もありません。

【対応状況】

病院で診察の結果、「右足関節じん帯損傷」（通院加療、全治3週間）と診断されました。

今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2023年5月10日にお知らせ済み）

②

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日
号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日
号機	-	件名	免震重要棟2階会議室のパソコンからの火災について（区分：Ⅰ）	発生日	2023年1月17日
号機	5	件名	ランドリ建屋（管理区域）における火災の発生について（区分：Ⅰ）	発生日	2023年4月11日

不適合情報

2023年4月12日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	非常用ディーゼル発電機(A)点検後の40%負荷試運転時、当該エリア火災報知器のブアラームが発報したことを確認した。運転にともなう温度上昇により、点検作業で交換した保温材から一時的に異臭やもやが発生したものと推定。刺激臭が強く、火災報知器の指示値も低下しないことから、発電機の運転を停止。周辺エリアの立入規制を行うとともに、局所排風機の設置、サーキュレーターによる室内空気の循環、換気などの対策を行い試運転を再開し、100%負荷試運転を完了済み。	2023/04/06	
2	4号機	タービン建屋地下3階(管理区域)所内用空気圧縮系空気圧縮機(B)の南壁に、地下水の染み出し跡を確認した。現時点で水の染み出しはなく、染み出しが発生した場合には床排水溝へ流入し、非放射性スチームドレン移送系で処理されることを確認済み。当該箇所を修理。	2023/04/10	
3	6号機	非放射性スチームドレン移送系収集タンク防液堤ピット排出ポンプ吐出逆止弁点検において、弁体部のナットに腐食を確認した。当該弁を交換。なお、配管上流側に逆止弁があり、機能が維持されていることおよび排水ポンプに影響のないことを確認済み。	2023/04/03	

不適合情報

2023年4月13日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	5号機	2023年4月11日11時5分頃、ランドリー建屋1階(管理区域)の洗濯機(C)に異音が発生し、モーター付近より発煙・発火を確認した。洗濯機(C)を停止するとともに、11時8分に119番通報を実施。初期消火を行い火が消えたことを確認。公設消防による現場確認の結果、12時に鎮火確認。当該事象の原因を調査し対策を実施。なお、周辺への放射能の影響がないこと、プラントへの安全上の影響のないことを確認済み。 【2023年4月11日公表済み】 URL: 第1報 https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20230411p.pdf 第2報 https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/2023041101p.pdf	2023/04/11	G III

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	サーブス建屋冷凍機冷却水弁点検にともなう全停操作において、冷凍機(A)にある操作スイッチで冷水ポンプ(A)を停止すべきところ、冷水ポンプ(A)にある操作スイッチで停止操作を行ったため、冷水ポンプ(A)が停止後に冷凍機(A)の操作スイッチの影響により自動起動したことを確認した。操作手順の再確認を徹底。	2023/04/10	
2	2号機	差圧/圧力伝送器採用の設計管理業務(設計検証)において、承認権限者でない者が承認していたことを確認した。検証内容を本来の権限者に説明し、承認を実施および事象概要を周知し、再発防止を徹底。	2023/04/07	
3	7号機	高圧復水ポンプ(B)吸込圧力計の点検において、計器接点(No. 1)の接断差が許容精度を逸脱し、調整できないことを確認した。当該圧力計を交換。	2023/03/17	
4	7号機	原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン軸受油圧力計の点検において、計器接点(No. 1)の接断差が許容精度を逸脱し、調整できないことを確認した。当該圧力計を交換。	2023/04/07	
5	その他	安全対策工事におけるコンクリート打設完了後の圧送管内の水圧洗浄中に、配管ジョイント部が外れて架台からずれ落ちた際、近傍にいた協力企業作業員の左足頸部に接触し負傷したことを確認した。発電所構内の健康管理室で擦り傷と診断され、傷口を洗浄し絆創膏の貼付け処置を実施。作業手順の遵守と実施状況の確認を徹底。	2023/04/06	

不適合情報

2023年4月14日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋非管理区域の南西側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換済み。	2023/04/11	
2	7号機	タービン建屋地下中2階(管理区域)北側階段室において、階段手摺に転落防止用の親綱を設置して作業していたところ、作業員の動作により親綱が引っ張られ、手摺の根元が破断したことを確認した。単管パイプで仮補修済み。当該手摺を修理。	2023/04/06	
3	7号機	コントロール建屋非管理区域の西側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換済み。	2023/04/11	
4	その他	3号機海水放射能モニタ指示値上昇の原因調査において、新潟県へのデータ伝送停止期間を仮設定して作業を実施していたところ、伝送停止期間を超過することが判明したにもかかわらず、期間延長の手続きを失念し、データ伝送が自動復旧していたことを確認した。データ伝送を再停止。調査の結果、停止までの間、新潟県に信頼性のないデータが伝送されていたことを確認した。停止期間の確認を徹底。なお、事象について新潟県に報告済み。	2023/04/03	

不適合情報

2023年4月17日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋管理区域の南東側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/04/12	
2	2号機	中央制御室において、監視用テレビモニタ(B)の液晶ディスプレイに映像が表示されないことを確認した。調査の結果、ディスプレイ単体の故障と推定。当該ディスプレイを交換。なお、モニタ(A)に異常はなく、監視に影響なし。	2023/04/08	
3	6号機	タービン建屋原子炉補機冷却系(C)熱交換器室の海水ストームドレン移送系排水槽ポンプ点検において、下ケースのカーボンベアリングに欠損を確認した。当該ベアリングを交換。	2023/04/12	
4	6号機	タービン建屋管理区域の東側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/04/12	
5	その他	大湊側雑固体焼却設備一次バーナー着火不良にともなう点検において、パッキンの溶断および耐熱塗装の変色を確認した。焼却設備の使用を禁止。当該事象の原因を調査し修理。	2023/04/12	

不適合情報

2023年4月19日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	北側66kV開閉所補助建屋に設置しているPHSアンテナに異常を示すランプが点灯し、建屋内で通話できないことを確認した。調査の結果、通信ケーブルの劣化によるものと推定。ケーブルの使用状況を調査し、未使用回線に接続切り替え。	2023/04/12	
2	2号機	屋外の軽油タンク(A)に火報の発報を確認した。直ちに現場を確認し炎や煙、タンクの温度上昇がなかったことから、感知器の不具合による誤報と判断。当該感知器を交換し復旧済み。	2023/04/13	
3	5号機	大湊側補助ボイラー4Cの水位が、給水流量調節弁の閉操作にもかかわらず上昇していることを確認した。調査の結果、給水流量調節弁のシートバスと推定。当該事象の原因を調査し修理。	2023/04/14	
4	その他	高所放水車の操作訓練で放水塔を操作したところ、作動油が漏えい(約8リットル)したことを確認した。受けパン設置済み。中和剤散布および吸着マットで油を回収。当該放水車を資機材倉庫に移動し修理。なお、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。	2023/04/13	
5	その他	2023年3月の時間外労働の確認において、休日の時間外労働を加味した確認を失念し、2月および3月の平均時間外が80時間を超過(36協定違反)していることを確認した。総時間外労働についてサービス管理者およびメンバーの双方で日々確認することとし、グループ内に周知を行い時間外管理の意識向上・超過防止を図る。なお、当該事象について長岡労働基準監督署に報告済み。	2023/04/14	

不適合情報

2023年4月20日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	5号機	非放射性スチームドレン移送系収集タンク防液堤ピット排水ポンプの吐出圧力計指示値が、ポンプの運転・停止にかかわらず変動しないことを確認した。調査の結果、圧力計が固着していたことを確認。当該圧力計を交換。	2023/04/16	
2	5号機	高圧炉心スプレー系非常用ディーゼル発電機の機関水圧試験において、昇圧した冷却水系配管の継手部に滲みがあることを確認した。滲みの継続性がないことから、降圧後に継手部のコーキング処置を行い水圧試験を再実施。当該配管継手部を交換。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2023/04/14	
3	6号機	中央制御室運転監視盤2にある、プラント内放送設備(拡声装置)の拡声・通話機能が使用できないことを確認した。当該放送設備を点検・修理。	2023/04/14	
4	6号機	中央制御室運転監視補助盤2にある、プラント内放送設備(拡声装置)の拡声・通話機能が使用できないことを確認した。当該放送設備を点検・修理。	2023/04/14	
5	6号機	放射性廃棄物処理設備計算機に、2系伝送異常の警報の発生を確認した。調査の結果、ソフトアイソレーション装置用光アダプタの不具合、および2系光アダプタは正常に動作しているものの何らかの異常が発生しているものと推定。当該事象の原因を調査。なお、ソフトアイソレーション装置用光アダプタの不具合は長期停止運用中のため運転・監視に支障はなく、1系光アダプタが正常なため運転・監視に影響なし。	2023/04/16	
6	その他	荒浜側ガスタービン発電機車(No. 4)の燃料給油用ゴムホースに、亀裂(破れ)のあることを確認した。亀裂箇所近傍に滴下跡がないことを確認し、当該箇所吸着マットを巻き付け応急処置済み。当該発電機車を工場に搬出し修理。	2023/04/18	

不適合情報

2023年4月21日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	プラント内放送設備(拡声装置)の1号機から全号機への一斉放送において、5~7号機中央制御室、大湊側廃棄物処理設備中央制御室、副防護本部で音声不良を確認した。再現確認では異常は確認されず、使用に問題のないことを確認。当該事象の原因を調査し修理。	2023/04/14	
2	6号機	ほう酸水注入系ポンプ接液部の浸透探傷検査において、ブランジャー(3本のうち3本)、ウイングバルブ(6個のうち6個)、バルブシート(6個のうち5個)に、基準値を超える長さの指示模様を確認した。当該部品の再利用可否について検討し修理。	2023/04/17	
3	7号機	制御棒駆動機構取扱装置の簡易点検において、制御棒交換装置用カメラ(3台のうち2台)映像が映らないことを確認した。仮設カメラを設置し作業を継続。当該カメラを交換。	2023/04/06	
4	7号機	空気貯槽圧力の点検において、圧力計元弁または圧力計小弁いずれかのシートパスを確認した。当該弁を調査し交換。	2023/04/12	
5	7号機	所内変圧器7日塗装補修後の冷却ファン動作試験のため制御電源を通电したところ、故障を示す表示が発生したことを確認した。調査の結果、変圧器絶縁油配管の腐食箇所から空気が混入し、検出部に空気が溜まり、警報が表示されたものと推定。当該空気を排出し、変圧器絶縁油の状況を確認。	2023/04/17	
6	7号機	循環水系配管(A系、捕集器付近)の内部調査において、塗装の剥離および膨れ、発錆を確認した。当該箇所の補修方法を検討し修理。	2023/04/14	

不適合情報

2023年4月24日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	荒浜側洗濯設備点検における傾斜油圧ユニットのオイルレベル確認時、オイルレベル計下部に油の滲みを確認した。調査の結果、ひび割れがあることを確認。当該箇所を修理。なお、2023年4月12日に発生した洗濯機火災により、現在すべての洗濯機の運転を停止中。	2023/04/17	
2	2号機	取水口除塵装置スクリーン洗浄ポンプの点検において、ポンプ(B)のシャフトに判定基準を超える変形を確認した。当該シャフトを交換。	2023/04/18	
3	3号機	原子炉建屋南西側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。調査のため点灯・消灯操作を行ったところ、不点灯が復旧したことを確認した。当該誘導灯の点灯状況を監視。	2023/04/17	
4	4号機	OF・CVケーブル(電カケーブル)洞道送風機の電源停止時に発生した警報について、電源停止状態で警報解除確認を行ったところ、本来通電時にしか解除されない警報が解除される事象が発生したことを確認した。調査の結果、警報回路ユニットの不具合と推定。予備ユニットと交換し修理。	2023/04/18	
5	6号機	原子炉補機冷却系冷却水注入配管(B系)工事において、配管内部の清掃および確認のため内蓋を取り外したところ、他の工事でも同系統の配管開口部の外蓋を取り外しており、原子炉建屋への空気の流入が発生し、原子炉建屋差圧低の警報が発生したことを確認した。直ちに外蓋を取り付け、警報が解除されたことを確認。閉止処置を見直し、仕切り弁による隔離対策を追加。当該事象の原因を調査。なお、原子炉建屋の負圧は維持されていることを確認済み。	2023/04/18	

不適合情報

2023年4月26日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 14件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	消防設備の点検において、原子炉建屋非常用ディーゼル発電機(A)室の二酸化炭素消火設備用熱感知器(13台のうち1台)が、ベースから脱落しかかっていることを確認した。当該感知器を交換。なお、感知器の機能に異常はなく、監視に影響ないことを確認済み。	2023/04/20	
2	1号機	非放射性スチームドレン移送系配管修理において、非常用ディーゼル発電機(B)室(非管理区域)の非放射性スチームドレン排水槽への水張り中に、床漏えいの警報が発生したことを確認した。水張りを中断。調査のため水張りを再開したところ、再度警報が発生し、排水口から水が逆流し、漏えい(約40リットル)していることを確認した。また、125V(B)バッテリー室(非管理区域)も同様に排水口から水が逆流し、漏えい(約7.2リットル)していることを確認した。拭き取り実施済み。非常用ディーゼル発電機(B)室および125V(B)バッテリー室の排水管を調査したところ詰まりがあることを確認した。当該排水管を清掃。	2023/04/19	
3	3号機	タービン建屋北東側の地盤に陥没・地割れが発生していることを確認した。当該事象の原因を調査。	2023/04/13	
4	4号機	スタッドテンショナー(原子炉圧力容器の蓋ポルト脱着装置)の健全性確認において、操作盤のナット回転量表示が正常値を表示しないことを確認した。また、動作表示灯が点灯しないことを確認した。当該装置の電気品を交換。	2023/04/18	
5	5号機	大湊側洗濯設備の洗濯機(E号機)において、洗濯作業の自動運転で次工程に進まないことを確認した。当該洗濯機の使用を禁止。2023年4月12日に火災が発生した洗濯機と同型のため、火災原因の究明後、対応方針を検討。	2023/04/06	
6	5号機	原子炉建屋管理区域の南西側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/04/19	
7	5号機	原子炉建屋管理区域の南東側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/04/19	
8	5号機	タービン建屋非管理区域の東側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/04/20	
9	5号機	使用済み燃料プールに異物(20cm×20cm、ビニール片)が浮遊していることを確認した。青いシート片であったことから、最上階の養生シートと推定。当該シート片を回収済み。	2023/04/19	
10	5号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(B)の点検において、バランス配管均圧弁が開閉動作しないことを確認した。当該均圧弁を交換。	2023/04/20	
11	5号機	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機の試運転において、高圧炉心スプレイディーゼル補機冷却水系/高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器ドレン弁に、シートパスを確認した。冷却器ドレン配管に閉止栓を取り付け。当該弁を点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2023/04/21	
12	6号機	低電導度廃液系の液位確認において、低電導度廃液系・ホットシャワードレン系液位記録計の打点が1点に集中し、正常に記録されていないことを確認した。調査の結果、リボンカセット動作ワイヤーが切断していることを確認した。当該記録計のワイヤーを交換。なお、液位記録は運転員操作卓の監視用画面で確認可能なため監視に影響はなく、設備の運転にも支障なし。	2023/04/20	
13	その他	荒浜側雑固体焼却設備監視制御盤の端子台ボルトが空回りし、締め付け出来ないことを確認した。当該端子台を修理。	2023/04/20	
14	その他	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース(1本)に、破損があることを確認した。漏水の有無を確認し対応を検討。なお、保安規定の要求数(512本)以上を確保していることを確認済み。	2023/04/21	

不適合情報

2023年4月27日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋地下1階(管理区域)東側通路の壁コンセントに、破損を確認した。コンセントの使用を禁止。当該コンセントを交換。	2023/04/21	
2	1号機	コントロール建屋非管理区域の南西階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/04/24	
3	3号機	中央制御室において、残留熱除去系ポンプ(B)の吐出圧力計指示値とプロセス計算機表示値が相違していることを確認した。吐出圧力計器精度の逸脱と推定。当該事象の原因を調査し修理。	2023/04/21	
4	4号機	原子炉建屋付属棟非管理区域の南西階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2023/04/21	
5	5号機	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機点検後の機械式過速度停止試験において、設定値より低い回転数で停止装置が動作すること、および停止装置の手動によるリセット操作ができないことを確認した。当該過速度停止装置を交換。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態にあるため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。	2023/04/24	
6	6号機	低電導度廃液系収集ポンプ(A)吐出圧力計指示値が通常より高めを指示し、計器精度を逸脱していることを確認した。当該圧力計を点検・調整。	2023/04/24	
7	6号機	低電導度廃液系収集ポンプ(B)吐出圧力計指示値が通常より高めを指示し、計器精度を逸脱していることを確認した。当該圧力計を点検・調整。	2023/04/24	
8	その他	タクシーを利用して出社した当社社員の入構登録証が車内に置き忘れていたと、タクシー運転手が正門警備所に届け、当該社員が入構登録証を一時未携行状態であったことを確認した。当該社員に連絡を行い、入構登録証の引渡しを実施。タクシー降車時に入構登録証が車両に引っかかり、脱落したことが原因と判明。入構登録証の常時掲示・携行のルールを再周知・指導を実施。	2023/04/07	

不適合情報

2023年4月28日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	中央制御室において、残留熱除去系ポンプ(A)の吐出圧力計指示値とプロセス計算機表示値が相違していることを確認した。吐出圧力計の計器精度逸脱と推定。当該事象の原因を調査し修理。	2023/04/24	
2	4号機	排気筒放射線モニタ(A)(B)の電離箱記録計に、エラー表示の発生を確認した。調査の結果、アナログ記録計・プロセス計算機の指示値に異常はなく記録の欠測がないものの、定時の指示値が記録されないこと。また、エラー解除操作によりエラー表示を解除できるものの、即時に再発することを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。	2023/04/21	
3	5号機	原子炉区域高電導度廃液系排水槽ピット(C)漏えい検出用液位スイッチの電源ランプが消灯していることを確認した。当該スイッチを交換。	2023/04/23	
4	5号機	計装用圧縮空気系除湿装置(B)の試運転において、除湿塔(D)の圧力が低下していることを確認した。調査の結果、仕切り弁のシートパスと推定。当該仕切り弁および配管を点検・清掃。なお、除湿装置(A)に異常はなく、圧縮空気の供給に影響なし。	2023/04/25	
5	6号機	取水口除塵装置のスクリーン洗浄水配管ピット(南側)に溢水を確認した。当該ピットおよび配管を点検・清掃。	2023/04/22	
6	6号機	放射性廃棄物処理建屋非管理区域の南側階段室(1箇所)に、誘導灯の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換済み。	2023/04/25	

不適合情報

2023年5月8日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GIグレード 0件

2. GIIグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	5号機	海水熱交換器建屋地下2階(非管理区域)海水系配管スペースエリアから、水が浸み出していることを確認した。調査の結果、エリア内にある原子炉補機冷却海水系空気抜き配管弁からの海水漏れ(約48,000リットル)と判明。当該弁を閉止し、海水を排水処理。当該事象の原因を調査し再発防止対策を実施。 【2023年4月27日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20230427p.pdf	2023/04/26	GIII

3. GIIIグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	β ・ γ 線用警報付きポケット線量計の年次点検・校正において、 γ 線照射時の指示値が判定基準を逸脱(1号機:4台、固体廃棄物処理建屋:2台、消防センター:1台)していることを確認した。当該線量計の使用を禁止。なお、前回点検・校正以降に使用実績のあった2台について、影響評価を実施。	2023/04/25	
2	3号機	原子炉建屋付属棟480V小容量電源盤3SA-3(3F)に、遮断器操作ハンドル部カバーの破損を確認した。当該遮断器の使用を禁止。当該ハンドル部カバーを交換。	2023/04/25	

不適合情報

2023年5月9日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	タービン建屋補機冷却系ポンプの全停操作において、中央制御室に発生すべき警報が発生しなかったことを確認した。調査の結果、低圧復水ポンプモーター軸受冷却器の冷却水流量計が固着していた影響によるものと推定。当該流量計を点検・修理。	2023/04/25	
2	5号機	放射性廃棄物処理設備の伝送制御盤に、異常を示すランプの点灯を確認した。調査の結果、高電導度廃液系濃縮装置加熱器(B)給液流量計の指示値が変動を繰り返しており、信号入出力装置の基板の不具合と推定。当該基板を交換。なお、当面高電導度廃液系の濃縮処理予定がないため影響なし。	2023/04/26	
3	6号機	放射性廃棄物処理設備の監視画面に、伝送プロトコル変換装置(Ⅱ系)異常の警報が発生し継続していることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。なお、Ⅰ系に異常はなく、設備の運転に影響なし。	2023/04/27	
4	6号機	ほう酸水注入系ポンプ(B)接液部の浸透探傷検査において、プランジャー(3本)、ウイングバルブ(6個)、バルブシート(6個)に、指示模様を確認した。当該部品を交換。	2023/04/27	
5	7号機	改良型制御棒駆動機構の作動試験において、制御棒を過引抜位置から全引抜位置に挿入した際、制御画面の過引抜表示が消灯すべきところ、消灯しないことを確認した。調査の結果、制御棒位置検出スイッチの動作不良と推定。当該スイッチを交換。	2023/04/26	

不適合情報

2023年5月10日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	7号機	使用前事業者検査における現場確認において、現場で使用した図面と検査要領書の図面が相違していることを確認した。また、図面内の記号・番号の誤記、検査範囲の記載漏れがあることも確認した。当該図面を修正し、追加検査を反映した検査要領書にもとづき再検査を実施。	2023/05/01	
2	その他	荒浜側補助ボイラー建屋給気ファン(B)出口風量調整用ダンパーの開閉操作において、操作ハンドルが空回りしダンパーの開閉ができないことを確認した。吸気ファン(B)の起動停止処置を実施。当該ダンパーを点検・修理。	2023/04/28	

核物質防護に関する不適合情報

2023年4月18日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 2件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	監視モニターの映像が、映らないことを確認した。他のモニターにて監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2022/09/23	
2	核物質防護上の障壁を補強する部材に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し、 正常な状態に復旧した。 なお、障壁の破損及び妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2023/03/13	

核物質防護に関する不適合情報

2023年4月25日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉(兼避難扉)が事前連絡なしに建屋内から開放されたことを確認した。なお、人の出入りはなく、扉は速やかに閉鎖されたことを確認済み。 調査の結果、一般扉と誤って開閉されたものと推定されることから、当該扉に注意喚起文を掲示した。	2023/04/07	
2	正門において、協力企業作業員が車両通行証を掲示せずに退構しようとしていることを見張人が発見し、退構を制止した。 当該作業員は入構時には通行証を掲示していたが、退構時には通行証を構内の事務所に置いてきてしまったもの。 当該企業に対し、構内での通行証掲示ルールについてあらためて周知した。	2023/04/04	
3	車両ゲートにおいて見張人が退域車両に対応している際、協力企業作業員が見張人に対し、非協力的なふるまいを行っていることを確認。 当該作業員に対し教育・指導を実施した。	2023/03/23	
4	防護区域への入域手続きとして見張人が手荷物検査を行う際、協力企業作業員が見張人に対し、非協力的なふるまいを行っていることを確認。 当該企業に対し、教育・周知を徹底するよう指導した。	2023/02/24	
5	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2022/12/27	

核物質防護に関する不適合情報

2023年5月9日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- | | |
|------------|----|
| 1. 公表区分Ⅰ | 0件 |
| 2. 公表区分Ⅱ | 0件 |
| 3. 公表区分Ⅲ | 0件 |
| 4. 公表区分その他 | 8件 |

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	防護設備の発電機燃料タンク用通気口に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、燃料の貯蔵に支障はなかったこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2022/11/9	
2		2022/12/16	
3	核物質防護上の通信機器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該設備を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の通信機能は、代替措置にて維持した。	2022/12/15	
4		2022/12/19	
5	新規に導入した侵入検知器の点検内容や頻度等が保全計画に反映されていなかったことから、新規設備を導入した際は、保全計画に速やかに反映するというルールをマニュアルに明確化した。	2023/1/30	
6	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。他のカメラにて監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/2/9	
7	核物質防護上の障壁の一部に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、侵入防止機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2023/3/11	
8	核物質防護上の扉の一部に破損を確認したことから、当該破損箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、侵入防止機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2023/4/6	

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2023年5月)

2023年5月11日

① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定検による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定検による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定検による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定検による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定検による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定検による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定検による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (4月末現在)

4月	0.0%
2023年度累計	0.0%
運転開始後累計	40.1%

③ 発電所発電電力量(万kWh) (4月末現在)

4月	0
2023年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

④ ドラム缶発生量(本) (4月末現在)

当月発生本数	194
貯蔵庫累積貯蔵本数	29,617
貯蔵庫保管容量	45,000

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2022年度第4四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,734
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

⑥ 従業員登録データ(人) (5月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率 ^{※1}
県内	柏崎市	842	2,235	56%
	刈羽村	68	213	5%
	その他	148	971	20%
	小計	1,058	3,419	81%
県外		121	896	19%
合計		1,179	4,315 ^{※2}	-
		5,494		100%
協力企業社数(社)		663		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
 ※2 参考：5月1日の協力企業構内入構者数732人

⑦ 来客情報(人) (4月末現在)

	4月	年度累計
地元	1,169	1,169
県内	331	331
県外	342	342
国外	11	11
合計	1,853	1,853

⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
5月25日	定例所長会見(予定)
6月8日	定例記者説明会(予定)

インターネットホームページアドレス
https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)